

第99期 報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

株式会社 オーバル

証券コード：7727

株主の皆様へ



代表取締役社長
谷本 淳

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第99期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、全世界で新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況が続いており、ワクチンの実用化が進められているものの、生産・輸送体制の問題や接種への警戒感から普及は長期化しており、先行き不透明な状況が続いております。わが国経済は、2020年4月に発出された緊急事態宣言における外出自粛要請により景気が急速に悪化するなど、厳しい状況となりました。その後の緊急事態宣言の解除をきっかけに国内消費は緩やかに回復基調となったものの、第2波、第3波と感染者が拡大したことにより2021年1月に緊急事態宣言が再発出され、再び厳しい状況となり、雇用環境の悪化や消費の鈍化などの影響が長期的に続くものと見込まれます。また、企業収益減少の警戒感を背景に投資が先送りとなり2020年度の設備投資計画は下方修正され、当企業グ

ループを取り巻く経営環境は大変厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当企業グループは、中期経営計画「ADVANCE 2.0-2021」の「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。

なお、当企業グループでは出張の制限や在宅勤務、オンライン会議などを実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、受注の確保に向けた営業活動を行っております。また、財務安定性を確保するため、不要不急の投資抑制、生産コストダウン、経費削減の徹底ならびに運転資金の確保に取り組んでおります。

しかしながら、国内外での設備投資を控える動きなどの影響を大きく受けた結果、受注高は10,632百万円（前連結会計年度比7.3%減）となりました。また、売上高はシンガポール・中国・韓国の子会社で新型コロナウイルス感染症拡大の影響による石油関連プロジェクトをはじめとした設備投資の延期や中止による低迷が続き、10,341百万円（同13.0%減）となりました。利益面につきましては、コストダウンや経費抑制に取り組んでいるものの売上高減少の影響が大きく、営業損失は110百万円（前連結会計年度は営業利益484百万円）、経常利益は41百万円（前連結会計年度比92.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は28百万円（同89.8%減）となりました。

なお、当期の配当は、中間配当の1株当たり3円と合わせ、年間配当では1株当たり6円とさせていただきます。

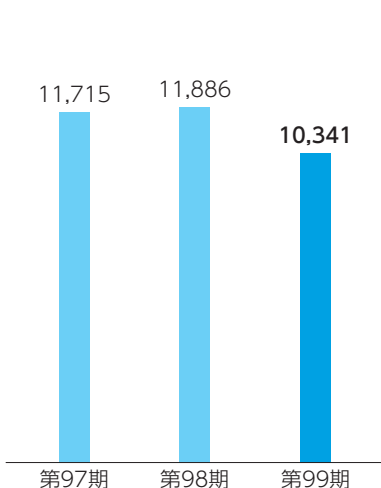
今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束は不透明なものの、設備投資は情報関連をはじめとしたコロナ禍の需要に加え、2020年度から2021年度に先送りされた投資により、回復が見込まれております。このような経営環境のもと、次期は2021年2月10日に2022年3月期まで1年間延長することを公表しました中期経営計画「ADVANCE 2.0-2021」の最終年度として、当企業グループ一丸となって最後まで着実に戦略を遂行し、収益の向上と安定的な成長が望める、今現在の厳しい事業環境に対応した企業体質の構築を目指します。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

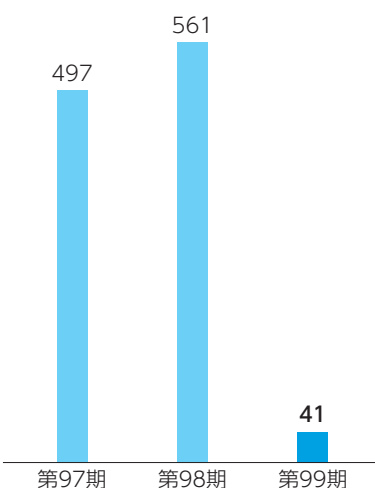
2021年6月

第99期連結決算ハイライト

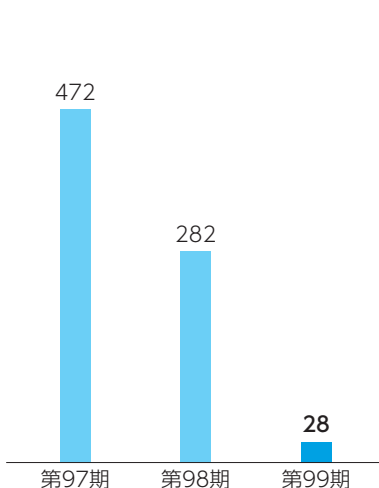
売上高 (百万円)



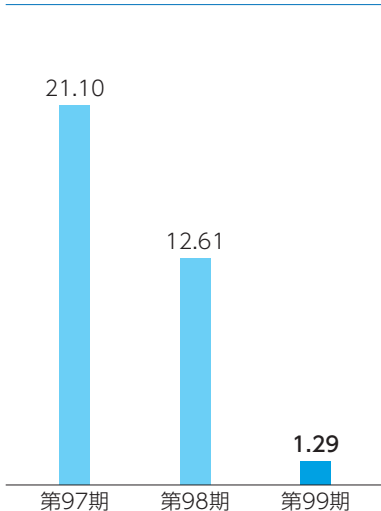
経常利益 (百万円)



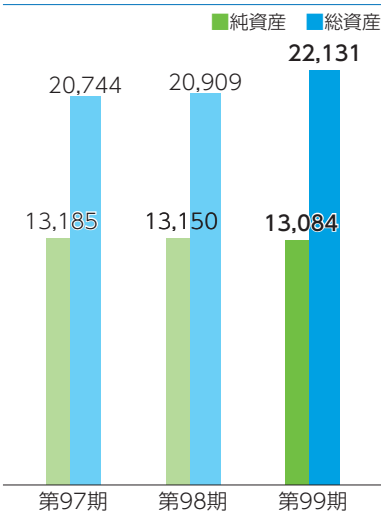
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



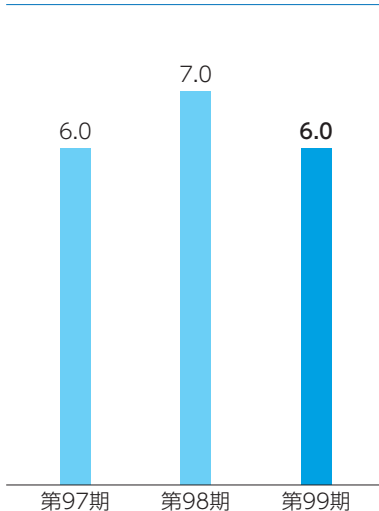
1株当たり当期純利益 (円)



純資産・総資産 (百万円)



1株当たり配当金 (円)



トピックス

①脱炭素（水素、アンモニア等）への取り組み

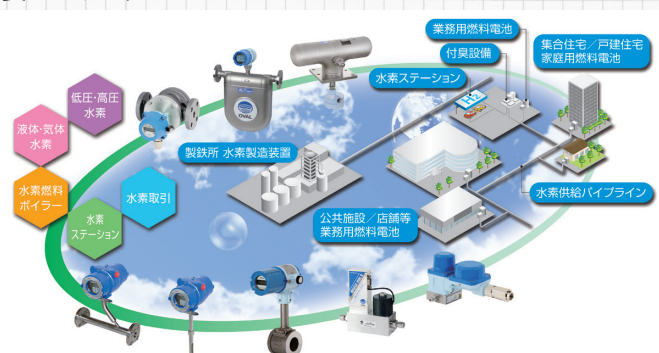
世界の電力の多くは、化石燃料による火力発電で賄われておりますが、「カーボンニュートラル・脱炭素社会」を実現するためには、火力発電の低炭素化、脱炭素化が欠かせません。そこで期待されているのが化石燃料に代わり、燃やしてもCO₂を発生しない水素やアンモニアを燃料とする方法で、現在様々な研究や実証試験において流量計が活用されております。

また、アンモニアは水素ガスのエネルギーキャリア（気体のままでは貯蔵や長距離輸送の効率が低い水素を液体や水素化合物にして効率的に貯蔵・運搬する方法）の有力候補としても期待されております。そのままでは嵩（かさ）張る水素ガスに代わり、液化水素や水素化合物（アンモニア・有機ハイドライド）にして効率的に貯蔵・運搬しますが、その製造の過程や輸送、備蓄においては、正しい量の計測や管理が必要となります。

オーバルは創業以来、水素やアンモニアなど、様々な流体計測用の流量計を開発、販売を行ってまいりました。この経験と技術力を生かし、これからも脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

水素、アンモニアなどの計測用流量計

- ・水素計測用超高圧形コリオリ流量計「ALTI_{mass}II」
- ・気体用熱式流量計「マスフローメータ/コントローラ」
- ・気体用容積流量計「ガスオーバル」
- ・コリオリ流量計「ALTI_{mass}II」
- ・渦流量計「EXデルタ」、「DELTA_{FLOW} TypeF」

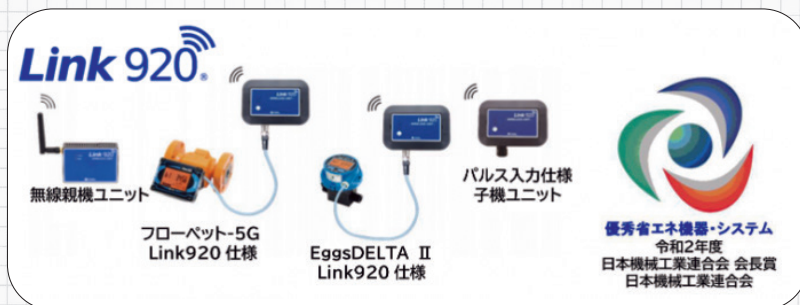


②「無線ネットワークシステム Link920」が令和2年度 優秀省エネ機器・システム表彰「日本機械工業連合会会長賞」を受賞

2019年5月より販売開始しました「無線ネットワークシステム Link920」で、一般社団法人日本機械工業連合会が主催する「令和2年度優秀省エネ機器・システム表彰」において、日本機械工業連合会会長賞を受賞しました。

この制度は、優秀な省エネルギー機器・システムを開発して実用に供することにより、エネルギーの効率的利用の推進に貢献していると認められる者及び企業、その他の団体を表彰し、優秀な省エネルギー機器・システムの普及を図るとともに、省エネルギー機器・システムの開発を促進しようとするものであります。「Link920」は、工場などで使用される圧縮空気や蒸気・燃料油・水などのユーティリティ流体の使用量を簡単・安価に可視化することに特化したパッケージシステムです。今回の受賞では、「Link920」の導入によりユーティリティ流体のきめ細かな傾向管理が可能となり、省エネを合理的・効果的に促進できるツールである点が評価されました。

この受賞を機に、限りある資源である水、石油等の正確な計測により、各産業界の有効なエネルギー活用を支援するとともに更なる省エネルギー対策の提案により、地球の環境対策に貢献してまいります。



③「ミスター省エネ」3密監視パッケージ製品の販売を開始

昨年12月より販売開始しました「ミスター省エネ」(注)は、CO₂センサをラインアップしており、CO₂濃度を監視するシステムを構築することが可能です。コロナ禍の昨今、屋内のCO₂濃度を測定することでいわゆる「3密」状態を可視化するニーズが高まっており、当社の主要顧客をはじめ、小規模店舗や大規模商業施設などにもCO₂モニタリングのニーズは幅広くあります。本製品「3密監視パッケージ」は、無償アプリが付属しており、顧客ごとの上位システム開発が不要で、今回、無償PCアプリ(オーバル製)と最小限の機器を基本セットとした安価なパッケージ製品の販売を開始しました。

(注)「ミスター省エネ」はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。

無償 PCアプリ付き

3密監視パッケージ

コロナ対策としてCO₂濃度監視システムを導入したいが…

- × ランニングコストが心配。毎月課金されるものは嫌…
- × 卓上タイプの機器では離れた場所から状況が把握できない…
- × 施設内を広い範囲に監視したいが本格的な監視システムは高額…
- × アラーム音だけでは気づかないかも…

そのお悩み、解決します!

オーバルの「3密監視パッケージ」にお任せください。

無償PCアプリ「CO2モニタ」
注：パソコンとディスプレイはお客様のご用意となります

無線通信
通信距離は約100m!

USBベース (無線親機) CO2ノード 温度・湿度ノード(オプション)

- 月々の課金なし! 簡単・安価に導入できます
- 会議室から大型施設まで幅広い環境で使えます
- 離れた場所においてもEメールで換気を促します

「密」発生!?

CO ₂ 濃度	温度	湿度
500 ppm (正常です)	21.2 °C	45.3 %RH
832 ppm (注意が必要です)	20.2 °C	45.8 %RH
1017 ppm (換気しましょう)	20.5 °C	44.3 %RH

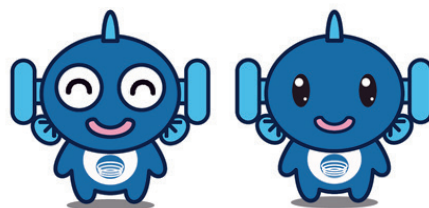
④当社コーポレートマークとキャラクターのご紹介

当社のコーポレートマークは大きな楕円の中で成長しながら上昇する3つの楕円 (INNOVATION OVAL) によって、日々自らを革新して発展、飛躍する当社の企業姿勢を表現しております。

また、内外に向けたPRの一環として親しみやすいマスコットキャラクターを作成いたしました。デザインは、当社製品の流量計と企業メッセージの「流れに価値を加えます」より、流れの中を生きる魚をモチーフとしました。今後、お見知りおきを願いたします。



当社コーポレートマーク



当社キャラクター

会社概要／株式関連情報（2021年3月31日現在）

会社の概要

商号 株式会社オーバル（英文商号：OVAL Corporation）
代表者 谷本 淳
創業 1949年（昭和24年）5月10日
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
資本金 22億円
事業内容 1. 工業用計測機器および関連機器の製造・販売
2. 計装および制御・管理装置の製造・販売
3. 工業用計測機器および装置に関するメンテナンス業務、流量計の検定業務
従業員数 672名（連結）
本社 〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号
Tel.03-3360-5009（経営企画室）
主要事業所・営業所 横浜事業所、東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所
子会社 株式会社山梨オーバル、オーバルアシスタンス株式会社、株式会社宮崎オーバル（以上国内）、HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.、HEFEI OVAL AUTOMATION CONTROL SYSTEM CO.,LTD.（以上中国）、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.（シンガポール）、OVAL TAIWAN CO.,LTD.（台湾）、OVAL ENGINEERING INC.（韓国）、OVAL ENGINEERING SDN. BHD.（マレーシア）、OVAL Corporation of America（米国）

取締役及び執行役員（2021年6月25日現在）

代表取締役社長	谷本 淳	執行役員	小熊 仁
取締役兼執行役員	浅沼 良夫	執行役員	今井 信介
取締役兼執行役員	加藤 芳樹	執行役員	市村 隆博
取締役兼執行役員	新國 誠治	執行役員	山森 康一
社外取締役 常勤監査等委員	池上 幸定		
社外取締役 監査等委員	加瀬 豊		
社外取締役 監査等委員	長野 和郎		

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 3月31日および中間配当を行うときは9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
Tel.0120-232-711（通話料無料）
公示の方法 電子公告 URL <https://www.oval.co.jp>（ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

株式の状況

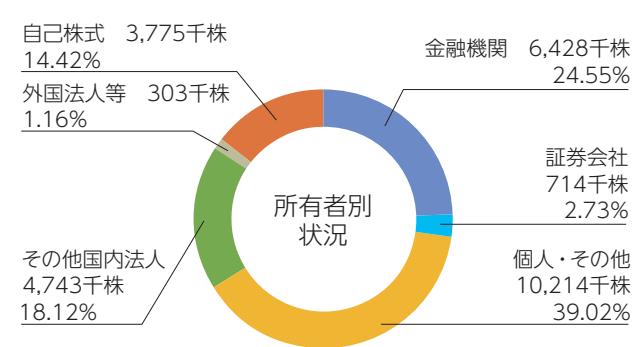
発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 22,404,009株
（自己株式3,775,991株を除く）
株主数 5,610名

大株主の状況

株主名	株式数（千株）	持株比率（%）
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
東京計器株式会社	1,309	5.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,132	5.1
轟産業株式会社	1,091	4.9
株式会社三笠	811	3.6
日本生命保険相互会社	691	3.1
横河電機株式会社	512	2.3
損害保険ジャパン株式会社	422	1.9
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	391	1.7
加島 淳一郎	355	1.6

（注）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況



（ご注意）
1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。